

土木分科会活動報告

2016年6月14日

土木分科会
構造物モデルWGリーダー 有賀 貴志

2016.06.14

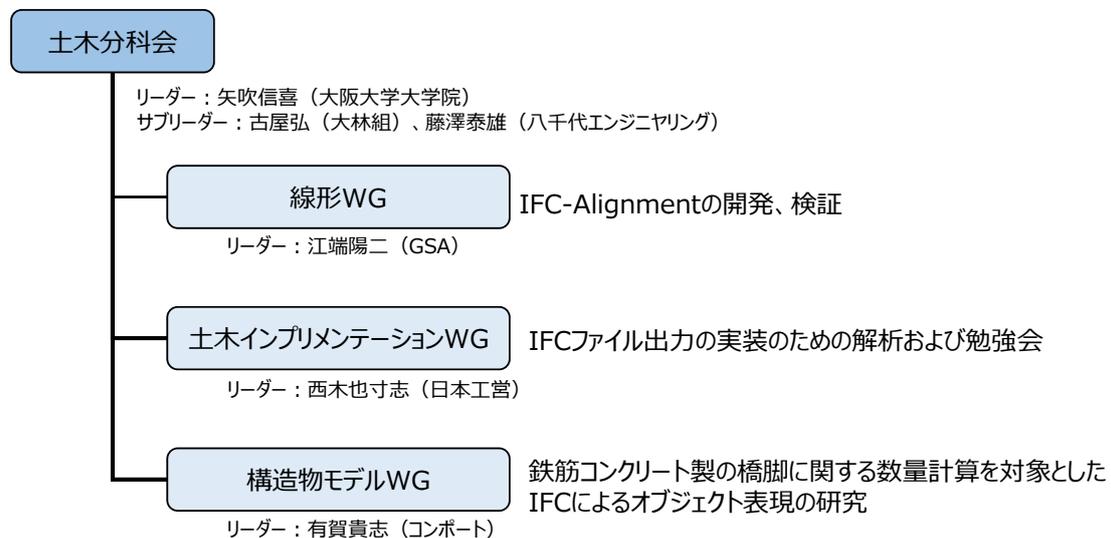
土木分科会

1

土木分科会の構成

IAI日本 セミナー

土木分科会では、buildingSMART International のInfrastructure Room が開発する各種モデル・標準への対応の推進、また、国土交通省が進めているCIM（Construction Information Modeling）に関する調査・支援活動、土木学会 土木情報学委員会との連携も推進している。



2016.06.14

土木分科会

2

土木分野におけるIFCをベースとしたプロダクトモデルの構築、インプリメンテーションおよび利用に関する開発調査研究および普及展開を行った。

線形WG：bSI LandXML MVD に関する調査を行い、国総研モデルとの差異について研究。

土木インプリメンテーションWG：IFCファイル出力の実装のための解析および勉強会

構造物モデルWG：鉄筋コンクリート製橋脚の数量計算を対象としたオブジェクト表現の研究

	2015										2016		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
分科会	◆			◆		◆			◆		◆		
線形WG						◆		◆		◆			
土木インプリメンテーションWG	◆		◆		◆		◆		◆		◆		
構造物モデルWG	◆		◆		◆		◆		◆		◆	◆	

社会基盤情報標準化委員会

一般財団法人 日本建設情報総合センター（以下「JACIC」という。）が平成12年5月に公表した「建設情報に係る標準化ビジョン」の趣旨に則り、社会基盤のライフサイクル全般にわたり共有・交換される情報に関する標準化を推進する。委員会は、社会基盤に関する情報を最も効率よく活用するために、広く関係者を結集し、社会基盤情報に係る標準化を共同で推進する。

建設情報に係る標準化ビジョン

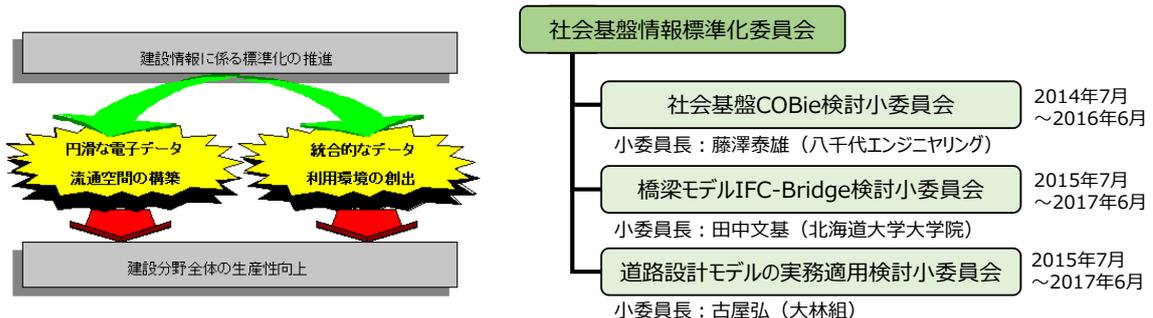
建設に関する情報を最も効率よく活用するために、広く関係者を結集し建設情報に係る標準化を強力に推進することによって、21世紀初頭に建設分野において、

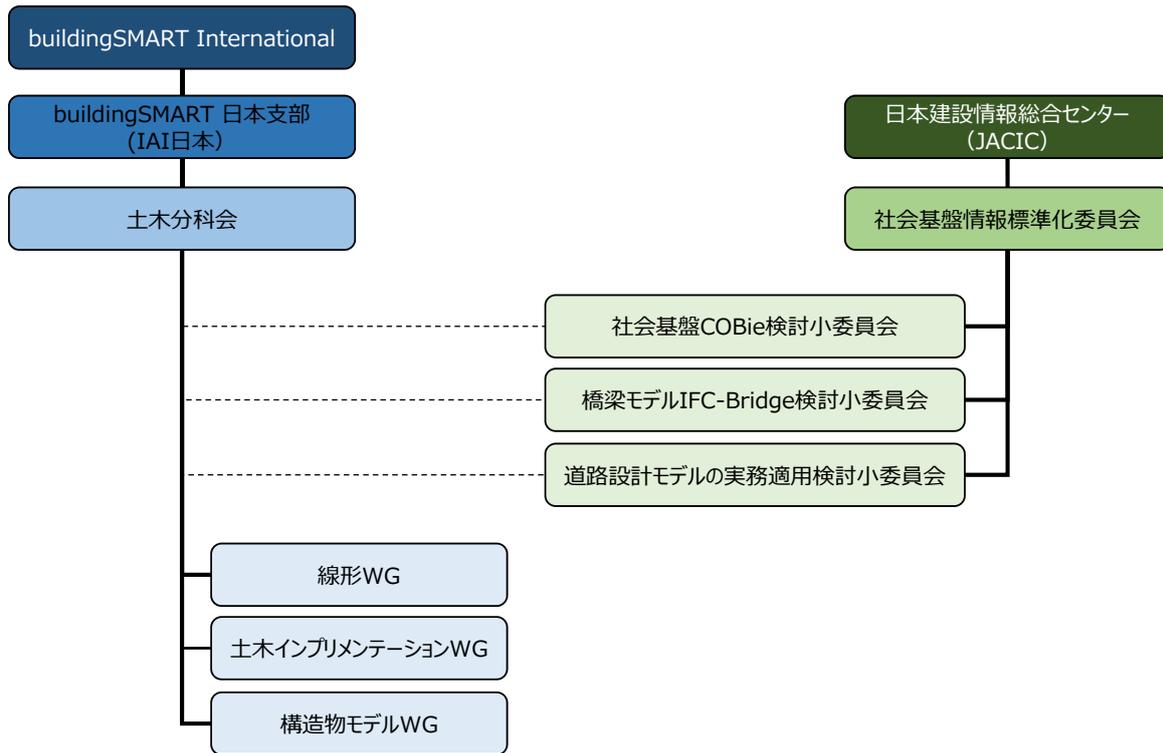
- ①円滑な電子データ流通基盤の構築
- ②統合的な電子データの利用環境の創出

を実現し、もって建設分野全体の生産性向上を図る

標準化推進体制

標準化ビジョンを具体的に実現するためには、産学官が共同で参加し、それらを円滑に推進しとりまとめる組織体制が必要である。具体的には、統合的な標準化活動の推進母体となる委員会組織、ならびに実質的な標準間の調整を行う実働部隊としてのテーマ別小委員会からなるふたつの体制を基本とする。





2016.06.14

土木分科会

5

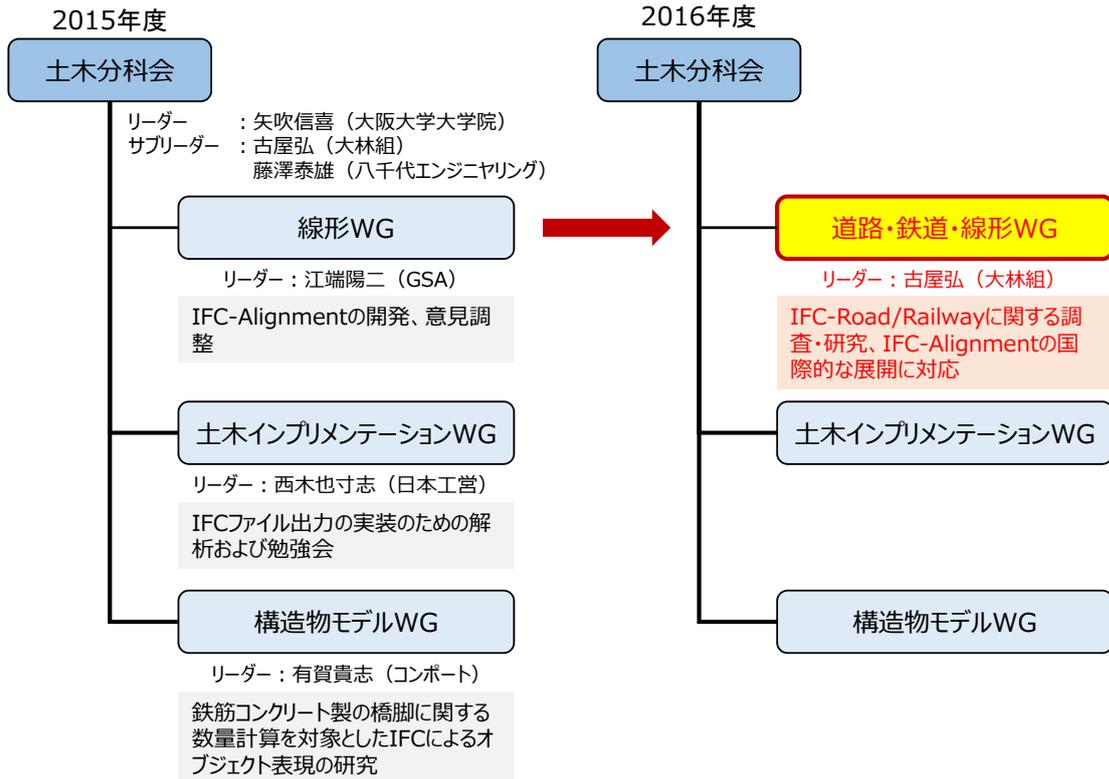
2016年度 活動計画

活動主旨	土木分野におけるIFCモデルの開発，実証を行い，IFCの土木分野への普及と展開を図る	
活動目的	土木分野におけるIFCをベースとしたプロダクトモデルの構築，インプリメンテーションおよび利用に関する開発調査研究および普及展開を行う	
活動メンバー数	35名程度	
活動体制	リーダー	矢吹信喜（大阪大学大学院）
	サブリーダー	古屋弘（大林組） 藤澤泰雄（八千代エンジニアリング）
	WG・その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 道路・鉄道・線形WG（リーダー 古屋弘） ■ 土木インプリメンテーションWG（リーダー 西木也寸志） ■ 構造物モデルWG（リーダー 有賀貴志）
分科会の開催頻度	分科会：2ヶ月に1回 各WG：2, 3ヶ月に1回	

2016.06.14

土木分科会

6



2016.06.14

土木分科会

7

Infrastructure Room

目的

Infrastructure Room (以下、InfraRoom) は、適切なBIMの開発および展開が、目的を達成するための重要な要因であるという考えに基づき、インフラストラクチャーの開発に関する設計、施工および維持管理等の各段階間のプロセスの統合を実現するための共通原則の作成を行っている。

Steering Committee

- Henk Schaap オランダ
- Jim Plume オーストラリア
- Christophe Castaing フランス
- Nobuyoshi Yabuki 日本
- Hyunjoo Kim 韓国

Steering Committeeは8名で構成。
欠員3名の選挙が行われる。

現在進行中の主なプロジェクト

- IFC Alignment – Deployment
- Integrated Built Environment Life Cycle Model
- International IFC-Roads
- Infra Asset Management
- IFC Bridge



2016.06.14

土木分科会

8